

国語

令和6年度 授業改善のポイント

- 1 課題解決に向けた試行錯誤の過程で、言葉による見方・考え方を働かせ、育成を目指す資質・能力を活用・発揮する場面を設定する。
- 2 育成を目指す資質・能力を活用・発揮している児童生徒の記述や発話等を具体的に想定した上で、評価する場面を精選したり、評価の方法を工夫したりする。

資質・能力の育成に向け、指導と評価の一体化を図った授業づくり

【指導事例】「スワンレイクのほとりで」（小学校第4学年）

～教材のあらすじ～小学4年生の少女「歌」はアメリカ旅行で様々な経験をする。そこで出会った少年「グレン」との交流は印象深く、「歌」は思いを巡らせることになる。

<育成を目指す資質・能力>

登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ

<言語活動>

登場人物の気持ちの変化や性格などについて読み取ったことを説明したり、それらを基に考えたことを伝え合ったりする活動

<本時のねらい>

登場人物の歌がグレンに出会った場面において、歌の気持ちがどのように変化したのかを具体的に想像することができる。

ポイント1 言葉による見方・考え方を働かせ、資質・能力を活用・発揮する場面の設定

学習課題

グレンと初めて会った時、歌はどんな気持ちになったのだろう。

「思わず、ぎゅっと、グレンの手をにぎりしめた」という文があるので、歌はうれしい気持ちになったと思います。



言葉の意味を吟味させる発問例

「思わず」「ぎゅっと」「にぎりしめた」とはどんな様子を表す言葉ですか。言葉の意味から歌の気持ちを詳しく考えてみましょう。

言葉による見方・考え方を働かせている児童の発話例

「思わず」ってことは、手が自然に動いてしまったということだね。



思考の流れを可視化し、互いの考えを共有する。

【例】タブレット端末上の本文に線や囲み、言葉の意味、気付いたことなどを書き、電子黒板等を用いて自分の考えを説明する。

重要 児童生徒が根拠となる叙述を明確にした上で、キーワードとなる言葉そのものについて捉えたり問い直したりしながら吟味できるように、教師は切り返し等の補助発問を準備しておきます。

「ぎゅっと」は強い力を加える様子だよ。

「にぎりしめる」には、強く握るという意味があるよ。



握手の仕方から歌のうれしさが分かったけれど、どうしてそんなにうれしかったのかな？



資質・能力を活用・発揮させる発問例

どうして、歌はとてもうれしかったのかな。グレンに会う前の日と、会った時の歌の様子を比べながら考えてみましょう。



重要 育成を目指す資質・能力（登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて想像すること）を活用・発揮できるように、複数の場面における歌の言動や情景に着目して気持ちを考えさせる発問等を投げ掛けます。

ポイント2 児童生徒の記述や発話等を具体的に想定した上での評価方法の工夫



みんなの意見を参考にして、もう一度自分で考え、まとめを書きましょう。

まとめ

*キーワードに下線

【「おおむね満足できる」状況(B)を想定して教師が作成した記述例】

歌は、グレンと友達になりたかったので、英語のあいさつを一生けんめい練習した。でも、あいさつをしたらグレンがだまっただから、とても不安になった。

言い直そうかなと思っていたら、グレンがにっこり笑ってくれたので、不安な気持ちは消えて、思わず強い力であく手するほどとてもうれしい気持ちになった。

一人一人の学習状況を見取るための工夫例



まとめを書く際に必要だと思われるキーワード（下線部）を想定します。そのキーワード等を用いて、学習課題に対応したまとめを書いたり話したりしているかどうかを見取ります。字数を増減したり、文型を示したりすることで速やかな見取りと支援につなげることができます。



教師はまとめ等の記述をタブレット端末を介して閲覧することで、個々の学習状況を即時的に見取り、適切な評価と支援につなげる。児童生徒は保存した記述を読み返すことで、これまでの学習内容を確認したり、自身の学びの変容に気付いたりすることができる。

